

2011年国家会議議員選挙結果の分析（1）：大規模な不正はあったのか

2011/12/16

上智大学外国語学部ロシア語学科 上野俊彦

12月4日に投票が行われたロシア国家会議（下院）選挙で政権側が大がかりな不正をおこなったという主張をしている人々がいる。またそうした主張が報道によって広く伝えられている。

不正があったか、なかったか、といえ、おそらくどこかで多少の不正は行われたことだろう。選挙でまったく不正が行われていないと考えるのは、あまりにお人好しである。選挙は人がおこなうものだ。どこかで、誰かが、不正や違反をすると考えるほうが普通である。

しかし、選挙結果に著しく影響を与えるような不正や違反があったかと問われると、そうした不正や違反をおこなうことは、以下に示すように、そう簡単なことではないので、ただちにあったとか、なかったとか、答えられる問題ではない。

選挙結果に著しく影響を与えるような不正や違反をおこなうことは、そう簡単なことではない、というのは、以下のような理由からである。

今回のロシアの下院選では、選挙人（有権者）総数は1億人を超える109,237,780人¹であり、選挙人に交付された投票用紙の数²は65,774,462枚である³。投票箱に入れられた投票用紙の数はそれよりも若干少なく65,656,526枚である⁴。その差、117,936枚は、一般に「持ち帰り票」と言われる。投票箱に入っていた65,656,526票の投票用紙のうち、有効票は64,623,062票、無効票は1,033,464票である。この有効票は各党に投じられたわけで、このうち、「統一ロシア」に32,379,135票、ロシア連邦共産党に12,599,507票、「公正ロシア」に8,695,522票、ロシア自由民主党に7,664,570票が投じられた。したがって、各党の得票率は順に、49.32%、19.19%、13.24%、11.67%で、その得票率に応じて各党が獲得した議席数は順に、238議席、92議席、64議席、56議席である。かくして、今回の選挙では、1議席を獲得するために必要な票数は、143,606票ということになる。

つまり、「不正」をして、ある党が1議席を増やすためには、143,606票を捻出する「不正」をしなければならぬことになる。当然、ある党の議席を10議席増やすためには143万票以上を捻出しなければならない。このように、選挙結果に著しく影響を与えるような不正や違反をおこなうことは、そう簡単なことではないのである。

さて、それでも、選挙の結果を変えるほどの不正があったのかどうかを考える場合、そもそも、選挙結果は、投票日の直前に実施された世論調査や投票日に実施された出口調査から予想される議席数と大きく食い違っていたかどうかを見てみるという方法がある。もし食い違っているとしたら、不正があったと疑うべきであろう。

グラフ1は、ロシアの代表的な世論調査機関がおこなった世論調査および出口調査の結果に基づく各党の予想議席数と、実際の選挙結果である。

「統一ロシア」について見てみると、レバダ・センターの世論調査⁵と全連邦世論調査センターの出口調査⁶の結果に基づく予想議席数は、実際の選挙結果とはほぼ一致しており、全連邦世論調査センタ

¹ この数字およびこの段落の以下の数字は、すべてロシア連邦中央選挙委員会のホームページの選挙結果のページ (http://www.cikrf.ru/banners/duma_2011/itogi/result.html) で公表されている数字と、それに基づく計算結果である。

² 交付された投票用紙の数が投票に参加した選挙人数と見なされる。

³ 選挙人総数を分母、投票参加者数（交付された投票用紙の数）を分子として計算した比率は60.21%である。ロシアでは、この比率を投票率としている。

⁴ この、交付された投票用紙の数と、投票箱に入れられた投票用紙の数（この数は有効票の数と無効票の数の合計である）との差117,936枚は、一般に「持ち帰り票」として処理される。

⁵ レバダ・センターの11月25-28日の世論調査 (<http://www.levada.ru/05-12-2011/vybory-v-gosdumu-2011-ofitsialnyi-prognoz>) は、統一ロシア50.8%、共産党15.8%、公正ロシア15.7%、自民党13.3%であった。これで議席を計算すると、それぞれ239、74、74、63議席となる。

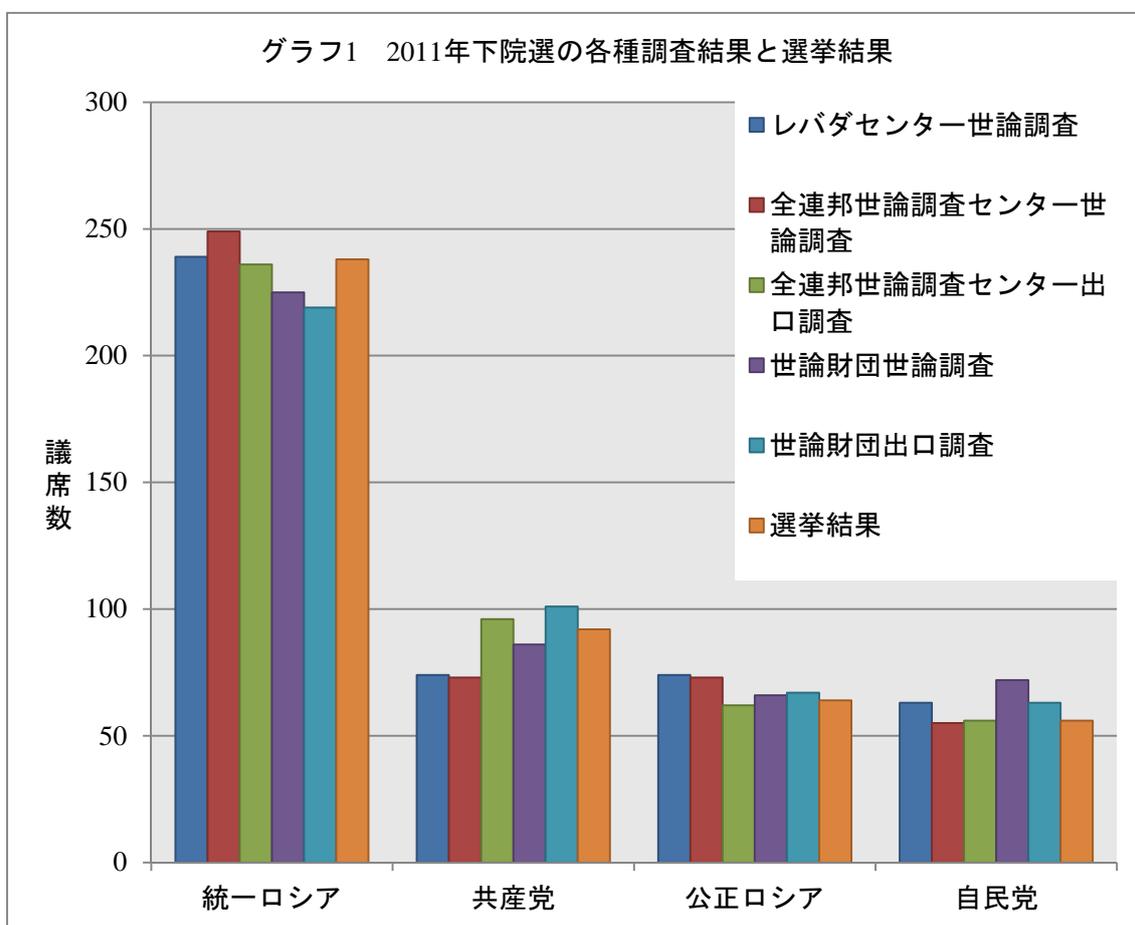
⁶ 全連邦世論調査センターの出口調査 (<http://www.vybory.wciom.ru/index.php?id=566&uid=112175>) は、統一ロシア48.5%、

一の世論調査⁷の結果に基づく予想議席数は実際の選挙結果よりも多く、反対に世論財団の世論調査⁸と出口調査⁹の結果に基づく予想議席数は実際の選挙結果よりも少ないが、全体として見れば、投票日の直前に実施された世論調査や投票日の出口調査の結果に基づく予想議席は、実際の選挙結果にほぼ一致していると考えられ、したがって、実際の選挙結果は妥当なもの、すなわち選挙結果をゆがめるほどの不正は行われなかったと考えるのが妥当であるということになる。

野党について見てみると、例えば、ロシア連邦共産党は、世論調査や出口調査から予想される議席数よりも、実際の選挙結果のほうが好結果であるように見え、野党第一党のロシア連邦共産党の議席を減らすための不正が行われたとは考えられない。

このように、グラフ1を見て明らかのように、各種調査から予想される議席数と実際の選挙結果にそれほど大きな違いはない。

こうして、ロシアの代表的な世論調査機関がおこなった世論調査および出口調査の結果に基づく各党の予想議席数と、実際の選挙結果を比較した限りでは、今回の選挙で大きな不正が行われたとは考えられないという結論に達する。



共産党 19.8%、公正ロシア 12.8%、自民党 11.42%であった。これで議席を計算すると、それぞれ 236、96、62、56 議席となる。

⁷ 全連邦世論調査センターの 11 月 30 日の世論調査 (<http://wciom.ru/index.php?id=170>) は、統一ロシア 41%、共産党 12%、公正ロシア 9%、自民党 12%であった。これで議席を計算すると、それぞれ 249、73、73、55 議席となる。

⁸ 世論財団の 12 月 12 日の世論調査 (<http://bd.fom.ru/pdf/d4911.pdf>) は、統一ロシア 47.0%、共産党 17.9%、公正ロシア 13.8%、自民党 15.1%であった。これで議席を計算すると、それぞれ 225、86、66、72 議席となる（小数点以下の処理で合計 444 議席となる）。

⁹ 世論財団による出口調査 (http://fom.ru/uploads/files/exit_poll_fom/graph.png) は、統一ロシア 45.5%、共産党 21.0%、公正ロシア 14.0%、自民党 13.2%であった。これで議席を計算すると、それぞれ 219、101、67、63 議席となる。